

ひたちの文化

2 エッセイ⑪⑬ 佐藤 信一郎さん

3 日立市文化少年団ご紹介 ⑪

3 日々を詠む⑩ 川柳 三浦 武也さん

4 My 仕事③⑤ 中里ドッグガーデン 菊池 守弘さん



5 日立市民会館開館60周年記念事業について

郷土の歴史との出会い③ 綿引 逸雄さん 6

将棋への魂 ⑨ 矢代 豊さん 7

「純烈コンサート」「石井竜也コンサート」ご案内 8



「晩秋」

撮影者：島田 道子さん（日高町在住）

撮影場所：十王町高原「たかはら自然塾」

晩秋の陽はやわらかく傾き、山あいに静けさを落としていく。木々はそれぞれの色を深め、朱橙、金が入り混じり、ひとつの季節がゆっくりと熟していく。鮮やかな黄葉の梢は、まるで光を宿すように輝き、薄雲りの空の下でひとときを凛と立つ。その足もとでは、風に押されるように葉がひらりと舞い、地面に落ちた瞬間、短い旅を終えた小さな命の気配が消えていった。

山を包む空気には、晩秋ならではの張りつめた清らかさがある。ゆっくりと吸いこくと、胸の奥まで冷たさが届き、同時にどこか心を新しく整える力があるようにも思える。季節は、ただ移り変わるだけではなく、確かな節目として人の内側にも静かな線を引いていくのだと思う。ふと見上げた枝先のわずかな揺らぎは、過ぎていった日々の重なりをこそ思い出させる。

師走に入り、街のざわめきと山の静寂が対照的に響きあう。時間の流れは容赦なく速く、気づけば一年の輪郭が薄くかたちを成している。思い返せば、様々な思いのすべてが積み重なって今日の景色へとつながってきた。落葉が自らの余韻を地に託すように、人もまたそれぞれの一年をそっと胸に置きながら、次の季節を迎える準備を進めていくのだ。

黄葉の大樹が、ゆるやかに冬の光を受け止める。その姿は、季節の変わり目に立つ者だけが持つ静かな気高さを見せていた。色を失っていく山並みのなかで、なお輝きを保つその一本は、来たるべき新しい年への道標のようにも見える。自然はいつも、言葉を持たずに何かを示し、歩みを整えてくれる。

まもなく訪れる新年の気配が、冷たい風の奥にわずかに混じり始めている。季節の境目に立ちながら、今だけに宿る色彩と静けさを胸に刻むとき、自然の営みの確かさがひとつの希望のようにつながる。

エッセイ

二十三夜尊から繋がる
日立銀座通りの地域活性

佐藤 信一郎



佐藤 信一郎(さとう しんいちろう)

日立市でエンジニアを仕事にしながら、日立銀座通りを中心にした地域活性に関する活動を行っている。ひたち銀座もーる元気UP協議会副会長。今年7月からは日立銀座通り沿いの『よって家+』という飲食付コミュニティスペースの管理人を行いながら演劇活動や音楽活動も行っている。

みなさん『二十三夜尊』について御存じでしょうか？

御存じでない方も多いと思いますので、まず『二十三夜尊』について簡単に説明したいと思います。

『二十三夜尊』とは『勢至菩薩』を祀る昔から存在する日本の信仰で、江戸時代に民間から流行した信仰です。『勢至菩薩』は、農耕や漁業の神として知られ、二十三日の月(下弦の月)の日に、豊作を祈願していた流れから、現在では全国各地にある勢至菩薩を祀るお堂(二十三夜堂)で、縁日が開催されるようになりました。『日立銀座通り』にも昔から『二十



二十三夜尊

三日堂があり、旧暦の23日に『二十三夜尊縁日』が開催されています。

なお、他近辺の二十三夜堂では、あじさいで有名な水戸の保和苑の隣にある桂岸寺で『二十三夜尊縁日』が開催されてあり、こちらもこの縁日の日には、縁結びや金運、合格を祈願するために多くの参拝者が訪れています。

次に『日立銀座通り』の『二十三夜尊縁日』について説明したいと思います。

『日立銀座通り』の『二十三夜尊』は『ひたちぎんざもーる商店街』にあります。

主催の『ひたちぎんざもーる商店街』が通りを通行止めにして、朝9時から午後2時まで『二十三夜尊縁日』を開催し、新鮮野菜、お団子、焼き鳥、



二十三夜尊縁日風景

焼きそばなど縁日らしい出店や、日立市内外で活躍するミュージシャンたちの路上ライブの開催のほか、『二十三夜尊』を信仰する方々が集まり、音楽や飲食を毎月楽しんでいます。しかし、『二十三夜尊縁日』を主催する『ひたちぎんざもーる商店街』も出店も信仰する方々もほとんど高齢化が進んで危惧していました。

そのなか『ひたちぎんざもーる商店街』の声から『ひたちぎんざもーる商店街』を活性化したい有志が集まり『ひたち銀座もーる元気UP協議会』が生まれ、私もその一員となつて

『二十三夜尊縁日』に関わり始めました。

『二十三夜尊』を多くの方に知ってもらうには『ひたちぎんざもーる商店街』に興味をもってもらい、いかに検討を重ね、土日祝日が旧暦23日になる『二十

三日尊縁日』の日を『二十三夜尊大縁日』と題し年に1回大きく開催することに決定。

いつもの縁日らしい出店以外に新しいキッチンカーやフラフトなど出

店して戴いたり、子供から大人まで楽しめるイベント

(謎解き、演劇、朗読、大道芸など)

を増やしたり、『二十三夜尊大縁日』は午後2時で終わりにせず夕方まで延長したりと、信仰する方々だけでなく、一般の方々も楽しめるよう新しい工夫を取り入れながら、毎月開催している『二十三夜尊縁日』の部分は残しました。

おかげさまで『二十三夜尊大縁日』は毎年好評を博し、2019年から今年2025年までの第7回まで開催することができています。

しかし、『二十三夜尊大縁日』によって一過性の賑わいを生み出すことはできましたが、『ひたちぎんざもーる商店街』の活性化を考えると、常時の賑わいを生み出すことが最終的に目指すところになります。

それには『二十三夜尊縁日』同様、信仰する方々だけでなく一般の方々も集まれる『場所』をつくるのが次の目指すところ。



二十三夜尊大縁日の様子

そんななか『ひたちぎんざもーる商店街』の中心地である『よって家+』というコミュニティスペースが、今年6月30日に閉店しました。

これからはこの『よって家+』を老若男女、常時、人が集まる場所にしながら『二十三夜尊縁日』を盛り上げていきたいと考えています。

また『二十三夜尊縁日』は、旧暦だと信仰する方々以外の方々には開催日がわかりにくいこともあり、来年2026年から旧暦ではなく新暦23日に開催します。

『二十三夜尊』の流れとは相違してしまいましたが、新暦23日には祝日が3回あり、来年2026年は土日になる日も加えること、土日祝日になるという嬉しい変化もあります。

周囲の人や環境の変化を楽しみながら『二十三夜尊縁日』と『ひたちぎんざもーる商店街』の活動をこれからも続けていきたいと思っています。応援のほどよろしくお願い致します。



今年の大縁日チラシ



日立珠算連盟

さまざまな
文化に触れよう!

日立市文化少年団ご紹介 ①

日立市文化少年団をご存じでしょうか?日立市では現在25の文化少年団がさまざまな分野で文化活動に取り組んでいます。どの団体も幼少期から多様な文化に触れ、日本の伝統文化や新しい生活文化を学ばせることを目的としています。また、次世代への文化の継承という意味でも文化少年団は大切な役割を担っています。毎号2団体ずつ、本誌面で紹介していきます。

日立珠算連盟の案内

活動日時: 各珠算教室 (「日立市 日本珠算連盟」で検索)
活動場所: 日立市、高萩市、東海村、常陸太田市の各珠算教室
入団条件: 各珠算教室
会費(参加費): 各珠算教室 (無料体験できます。)
申し込み方法: 電話が直接 (お近くの教室を紹介します。)
申込先と: 日立珠算連盟事務局 (日立商工会議所内)
問い合わせ先: 〒317-0073 日立市幸町1-21-2
 TEL 22-0128 FAX 22-0120

昔から、「読み、書き、そろばん」と言われている、学びの基礎として身近なそろばん。日本の教育文化として長い歴史を持ち、その中で日立珠算連盟は昭和48年設立、55年の歩みを経してきました。

デジタル化の現代において、単なる計算道具としての役割を超え、子供から、シニア層まで脳の活性化に与える効果が大きいとの研究結果もあるほど、「脳のスポーツ」として見直さ

子ども茶道教室

令和7年度の子ども茶道教室は、小学生から中学生までの16名が活動しています。年間6〜7回、宮田交流センターで3〜4グループに分かれて、お点前の割稽古(ぶくさ)のたたみ方や茶筌通しなどや、薄茶のお点前、お客の作法などを基礎から練習しています。

発表は毎年3月に行われる『ひたちこども芸術祭』で、『子ども茶会』を開きます。指導者が補助しますが、子どもたちだけでお点前やお運びが行われます。希望者は着物を着てお点前を披露します。

来年度からは、活動場所が中小路交流センターに、活動日時が日曜日の午前中に変更となります。日本の伝統文化茶道に興味のある子どもたちの参加をお待ちしております。

れています。

そろばん学習は、計算能力の飛躍的な向上のみならず、集中力養成にも役立つツールとして、初心者の方でも安心して、学べる環境を整えています。是非、教室に足を運んで体験してみてください。

かがでしようか?



日々を詠む

《選・評 三浦 武也》

字にすればたった二文字の平和であるが、世界に飽くなき願望をする平和である。しかし青い地球のどこかで銃声が聞こえます。作者はこの美しい星を傷めることなく後世に伝えたいと願っているのです。

(作者は川柳ひたち野社所属)

平和へのたった二文字が遠い星

石川 二三男



子ども茶道教室の案内

活動日時: 【令和7年度まで】
 毎月第3日曜日 (5, 6, 7, 9, 10, 11, 2月) 13:40 ~ 15:40
 【令和8年度以降】 毎月第3日曜日午前
 ※時間は人数により変更になる場合があります。
活動場所: 【令和7年度まで】 宮田交流センター和室
 【令和8年度以降】 中小路交流センター
入団条件: 小学1年生から高校3年生まで
会費(参加費): 3,000円/年 (初回にお支払いください。)
申込方法: ハガキ (郵便番号・住所・氏名・学校名・学年・性別・電話番号を書いてください。) ひたちこども芸術祭でも受け付けます。
申込先と問い合わせ先: 鹿志村 裕子
 〒317-0063 日立市若葉町3-11-12 小澤方 携帯: 090-3592-9209



手作りの看板がお出迎え

——この地は妻の実家の土地でした。おじいさんもお年だし、この土地をどうするという話が出ましてね。外資系の仕事をしていたんですが、そこを定年になったタイミングでした。土地はとにかく広さがありましたし、水戸に住んでいた私からしても空気が美味しい。環境がいいと思いましたね。ドッグランとカフェをやるうかと考えたわけです。周りからは色々な意見をいただきましたが、うまくいく自信がありました。



思い切り走れる広さ

——動物関係の仕事をしていたわけではなかったのですが、とにかく妻と手探りで始めました。始めた当初は新型コロナウィルスが猛威を振るっていた頃で、みんな家から出ないでストレスを大いに感じていた。この中里の美しい環境の中でワンちゃんと一緒に動き回って楽しんでもらいたいという気持ちを強く持ちましたね。

カフェは妻と二人でメニ



まるでアスレチック



四季折々の美しさが楽しめる

季節の花が咲き誇って、辛さを忘れさせてくれます。茨城はもろの東、京、千葉、神奈川な

ユーを考えながら、とにかく喜んでもらえるものと考えました。メニューはどちらが何を作ると決めてまして、注文によってはどちらかが厨房に立ちつばなしになります(笑)。コーヒーやアップルパイも300円で楽しんでいただけます。ドッグランのお客様ではなくてもご利用いただけますので、おかげさまでお昼には多くのお客様に来ていただいています。地元の方には中里で一番人が集まっている場所だなんて言われますね。

——カフェの材料は地元の農家さんから仕入れています。お米も野菜も果物も地元のものを使いたいなと思いました。例えばリンゴといえば大子町を思い浮かべる方が多いと思うんですが、でも中里のリンゴ、めちゃめちゃ美味しいんですよ。他県から来たお客様もここでリンゴを食べてびっくりされます。中里の食材の美味しさを知ってもらえればうれしいですね。

——うちのドッグランが4か所ありまして、ずっと山道を歩いてもらってもいいし、4つのドッグランのどこかでゆっくり遊んでもらってもいいです。だいたい50頭から60頭のワンちゃんが一度に入れます。ただ、敷地が広いので草刈りや庭木の手入れは本当に重労働。でも、自分の年齢もありますし、これ以上の拡張は考えておりません。自分たちで食べていければそれで充分だと思っています。でも、何かの縁でここにいらさせてもらっていますので。微力ながら地域の力になりたいなと思っています(笑)。

休日には多くの利用者が訪れる
(インスタグラムより)

My 仕事 135

NAKAZATO DOG GARDEN

代表 菊池 守弘さん
(中里町)

時が止まったかのように静かな山間の地に菊池さんが営む「NAKAZATO DOG GARDEN」があった。取材に訪れた日も平日にもかかわらず、お客様が愛犬たちと遊びに来ていた。県内で食事もとれるドッグランは多くない。この山を見た時、絶対ドッグランだというひらめきがあったという菊池さん。そんな菊池さんにお話を伺った。

ゆっくり過ごしていただくお手伝い

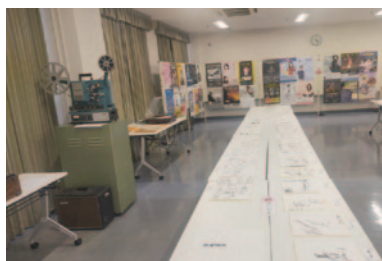


15人が入れる食事ブース



3周年記念の寄せ書き

日立市民会館開館60周年記念事業について

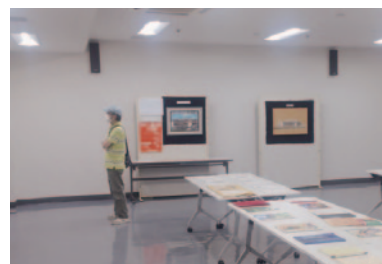


日立市民会館は、本年おかげさまで開館60周年という大きな節目を迎えました。この長い年月、さまざまな催し物や市民活動、そして人生の節目を、皆さまと一緒に見守りながら歩んでこられたことに、職員一同、深い感謝の気持ちでいっぱいです。会館を訪れてくださる方々の笑顔や励ましの声が、私たちの歩みを支える原動力となってきました。まずは、これまで会館を愛し、支えてくださった市民の皆さまに心よりお礼申し上げます。

今年はこの節目を記念して、館の歴史を振り返るさまざまな特別な企画を実施いたします。9月17日から23日の1週間にわたり、これまで開催してきた数多くのイベントのポスターや、出演者から寄せられた色紙、そして来場者の思いが記された芳名帳を展示し、一般公開しました。開館当初の記録から近年の公演まで、時代を象徴する作品や懐かしい名前が並び、訪れた方々が「あの頃を思い出すね」「この公演を見に来たわ」と語り合う姿が見られました。展示を通して、会館が皆さまの生活と密接に寄り添い、思い出の一部となってきたことをあらためて実感いたしました。



さらに今回は、昭和の時代まで実際に使用されていた館内の結婚式場を、当時の雰囲気



そのままに再現し、特別公開いたしました。現在には使用されていない空間ですが、「ここで



家族の式に出たことがあります」「昔はこんな場所があったとは知らなかった」といった声を多くいただき、会館が地域の方々の人生の節目に寄り添い、大切な時間を共有してきた場所であることを再認識する機会となりました。時を越えて記憶がよみがえるような温かい空間となりました。

そして10月26日には、日立ビッグバンドフェスティバルの出演者で構成された特別バンドをはじめ、日立市少年少女合唱団、日立市民吹奏楽団が出演するオムニバスコンサートを開催しました。ステージでは迫力ある演奏と清らかな歌声が響き渡り、団体ごとに異なる魅力が溢れるプログラムで、観客の皆さまから大きな拍手をいただきました。地域で活動する団体が一堂に会し、世代を超えて音楽を楽しめる場となり、多くの方に喜んでいただけたことを嬉しく思います。

日立シビックセンター・多賀市民会館 催し物ご案内

第17回ひたちこども芸術祭

日時 2026年3月7日(土)
10:00~15:00

◆入場無料◆

日ごろの文化芸術活動の成果を披露できる場として、ひたちこども芸術祭を開催します。

会場 日立シビックセンター、音楽ホール、ギャラリー、会議室

お問合せ 0294-24-7711



体験型 舞台を作ってみる

7-クシヨツ7

舞台を「作ってみる」コース

舞台に「立ってみる」コース

2026年 2月22日(日)・23日(月祝)
各日13:00~18:00

2026年 2月23日(月祝)
13:00~14:30

〈対象〉小学5年生~大学生 〈定員〉各コース20名

会場/お問合せ: 多賀市民会館 0294-34-1727

参加費無料

National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」



発見した石器（一部）

小型石棒51点、石皿、分銅型打製石斧、石錘、敲石、磨石、砥石、水晶原石、自然石など合計109点です。出土概略図を書きながら、この石器群を回収し、後日、市教委へ届け、遺物一つ一つに白い絵の具で「田尻・上の代遺跡・X地点」を略

に「TUX」と書かれています。私以外、誰もその来歴を知りません。発見時の石器類の出土状況や内容を知ってもらったため、実測図とともに『郷土ひたち』で報告しました。たくさんさんの石器類が、一まとまりになっていた理由は謎ですが、

山と海に挟まれた海岸段丘上にある上の代遺跡、そこで見つかったこれらの石器は、海の幸と山の幸に恵まれた私たちの地に住んだ縄文人の生活を探る重要な手掛かりになります。



水晶原石・灰地

昭和46年（1971）の夏、田尻町・上の代遺跡で発掘の機会があり、当時、高校3年生の私も調査補助員として参加しました。発掘は初めての体験でした。掘り出した石器には縄目の文様がありました。住居跡の中央には石囲いの炉がありました。

発掘が終了した9月14日、友人たちと発掘現場に行ってみました（その頃は部外者でも工事現場に立ち入ることが可能でした）。ブルドーザーの動く中、発掘区域外の1平方メートルに満たない範囲から偶然に大量の石器群を発見しました。石刀1点、大型石棒3点、



小形石棒

その中から石棒と水晶原石を紹介しました。石棒は柱状の石を敲（たた）いて削り、男性器を模した儀礼の道具です。大地の豊かな恵みを祈るために使われたと考えられています。縄文時代中期の大型石棒は3つに割れて確認されましたが、元は1本近くあったようで、流紋岩製です。また、縄文時代晩期の長さ30〜60cmの小型化した石棒も50点ほど確認されました。ほとんどは鮎川などで産する粘板岩から作られています。地元産の石を上代の遺跡で加工していたようです。それにしても極めて多い出土数です。次に、水晶原石は長さ10cmほどで石器の素材としたようです。このような水晶原石の出土は極めて稀なことです。

郷土の歴史との出会い③

わたのき いつお
— 綿引 逸雄 —

50年ぶりの再会・・・田尻上の代遺跡の石器群

元大みか小学校長。社会科教諭。教育の場に実験考古学の成果を活用する活動（火起こし・土器づくり）等を行う。ふるさと文化少年団顧問。日立市郷土博物館研究員。



大型石棒

した「TUX」と書きました。昭和50年に郷土博物館が開館する前の出来事です。そして50余年。博物館研究員としての仕事の傍ら、収蔵庫で「TUX」と書かれた石器群と再会しました。一部は展示ケース内に展示しており、石器の裏

した「TUX」と書きました。昭和50年に郷土博物館が開館する前の出来事です。そして50余年。博物館研究員としての仕事の傍ら、収蔵庫で「TUX」と書かれた石器群と再会しました。一部は展示ケース内に展示しており、石器の裏

日立・多賀市民会館 催し物ご案内

日立市少年少女合唱団



令和7年度定期演奏会 「あいあいコンサート」

日時 2026年3月22日（日）
13:30開演（13:00開場）
会場 日立市民会館（0294-22-6481）
入場無料

ひたち市民劇

石のこえ むらいのまち

2026年
2月7日（土）
15:00開演（開場14:30）
2月8日（日）
11:30開演（開場11:00）

全席指定 一般2,800円 中高生1,000円 小学生以下無料
会場：多賀市民会館（0294-34-1727）



時代の移り変わり

時代とともに将棋形態も変わってきている。昭和時代の将棋大会は畳の上での対局、喫煙も許される。さらに時間無制限の思考。

現在はテーブルに椅子、室内は禁煙、対局時計導入などが上げられる。特に対局時計の導入により、スピーディーな進行、公平性（決められた持ち時間）などが改善され対局に集中できるようになった。

現在はAー導入により、最新情報も簡単に知り得、研究材料の一つとして活用されている。

【終】将棋への魂

プロフィール
矢代 豊(やしろ ゆたか)

日立市生まれ

㈱日立製作所・日立工場入社 日立会将棋部に所属
平成26年日立将棋連盟会長、ひたちこども将棋教室代表、
茨城県支部連合会役員に就任
他、茨城新聞将棋観戦記担当



他にも大会準備や記録の保存など、様々なところで活用され、将棋の世界も文明の力学と共に進化を続けている。

決断

一般的に勝負事には、序盤、中盤、終盤と分けられている。そして、中盤から終盤にかけて相手との駆け引きが始まる。

ここで動くべきか、じっと様子を見るべきか、動くことより不利に陥る場合もある。しかし、動くことから、突破口を見出し、主導権を握る場合もある。

普段の生活の中で、大きな決断を求められ、決断を下した後には後悔が残るか、やり切ったという達成感を手にするか。

夢に向かい

令和7年度のひたちこども将棋教室の会員は少年15名、少女3名、計18名会員で構成されている。

皆、それぞれが自身の夢に向かい将棋に取り組んでいる。私たちはそれに応じ、背中を押してあげるのが役目でもある。

6年前から日立将棋連盟が主管として開催されている「小学生将棋名人戦公文杯茨城県大会」。プロ棋士の登竜門と言われる

羽生善治を始め、たくさんの方の棋士がこの棋戦を通り抜けている。

プロ棋士を目指す子供棋士は研究会、奨励会を勝ち抜き、少数のプロ棋士誕生となる。そこには本人の努力は勿論、保護者や関係者の支援なくては到達できない。

プロ棋士を目指す多くは、アマでの活躍へ場を移し、将棋を続ける若者は多い。ひたちこども将棋教室の子供たちは、中学生進級と同時に将棋から離れる子は多い。これは生活環境が変わること、また一つの区切りかと推察される。

そんな中学生といえば、時おりOBとして参加、低学年子供たちに指導をお願い、教える姿は我々とは違った新鮮さが見られ成長の証といえよう。

踏み出す勇氣

日本伝統文化の将棋、馴れ親しみやすく、隠れ将棋愛好家は相当数と思われる。そんな方々は敢えて公の場に現すことなく、ひっそりと将棋と向き合い、楽しんでいられると思います。

今回、将棋に関する思いを執筆させていただき、一人でも多

第50回小学生将棋名人戦公文杯茨城県大会



くの方にご理解と共感をいただければ、一歩踏み出す勇氣をお待ちしております。

問い合わせ
日立将棋連盟 矢代 豊
TEL 090(5317)9787
yutapon6730@gmail.com

日立シビックセンター音楽ホールの催し物
日立シビックセンターチケットカウンター 0294-24-7720

小林愛実

ピアノ・リサイタル

2026年2月15日(日)

14:00開演

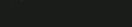
(13:00開場)

全席指定 S席:4,000円 A席:3,500円

完売御礼

高校生以下:2,000円

©Shuhei Tsunekawa



全席指定 一般:4,000円

上妻宏光

「生一丁!」

Tour2025-2026

2026年

3月8日(日)

14:00開演

(13:00開場)

新時代のアコースティック・ジャズ・スペシャルコンサート

2026年

3月28日(土)

16:00開演(15:00開場)

一般:4,000円

高校生以下:2,000円



©Seiya Uehara

市民会館のお勧めイベント Pick Up!



日立市民会館開館60周年記念事業

石井 竜也

スペシャルコンサート2026 in Hitachi



日 時 2月21日(土) 午後5時開演 **好評発売中**
 会 場 日立市民会館
 料 金 全席指定 9,500円(シビックメンバーズ9,300円)
 プレイガイド
 ■日立市民会館 ■多賀市民会館 ■日立シビックセンター
 問合せ 日立市民会館 0294-22-6481

純 烈 JUNRETSU
コンサート2026

日 時 2月6日(金) 13:00開演 (12:30開場)
 会 場 日立市民会館 **好評発売中**
 料 金 全席指定 6,000円
 問合せ 日立市民会館 0294-22-6481

わたちの文化のバックナンバー

財団HPにて
好評掲載中!

(http://www.civic.jp/hitachi/magazine)

日立市民会館は昭和40年の創建から今年で60年を迎えます。この節目の年を記念し、日立市民会館ではさまざまな催しを企画し、市民の皆様はわくわくと感動をお届けしております。詳細につきましては当財団のホームページやSNS、広報誌等で随時ご案内いたします。



編集後記

今回のMY仕事で取材をさせていただいた中里ドッグガーデンさん。とにかく気持ちがいい場所。で長時間いても飽きがない所だった。■代表の菊池さん。場内を案内していただいた時のこと。結構なアップダウン。ワンちゃん達にはフクフクたまらん山道だが、毎年人間ドックでダイエットを命じられるファットな私にはちよっとキツかった。立ち止まるや洋服の中でしたる汗。涼しい顔で歩く菊池さんを見習わなくては改めて減量を考えようと思った。◆来年の今頃はきつと苦もなくこの道を歩けるくらいになっているハズ? 菊池さん、またチャレンジさせていただけますね! (M)

「将棋の魂」は今回で最終回です。矢代先生、ありがとうございました。

表紙の写真



ずいぶん昔になるが、イベントのチラシを持って高原小学校を訪れたことがあった。外で遊ぶ子ども達がとても天真爛漫で、職員室まで筆者の手を引いて案内してくれた。川のせせらぎが心地よかったことも鮮明に記憶している。

写真は廃校となった高原小学校を利用した「たかはら自然塾」。樹木の紅葉が眩しい。撮影は日高町の島田道子さん。令和8年ふるさと日立カレンダー応募作品からの一枚。

発行 公益財団法人日立市民科学文化財団
 「わたちの文化」編集委員会

〒317-0063 日立市若葉町1-5-8 日立市民会館内
 TEL 0294-22-6481 FAX 0294-22-6633
 HPアドレス http://www.civic.jp

※ご意見・ご感想をお寄せください。

